

【2023 年度/専門科目領域/専門科目群/人間コミュニケーション学科】

科目名	ナンバリング	区分 (必修・選択)	単位数	履修年次	開講学期等																		
コミュニケーション・プロジェクト HC-3		選択	2	2.3	後期 (集中)																		
担当教員	研究室	電子メール ID	オフィスアワー																				
升 佑二郎 他	B313	y-masu	水曜日 16:20~17:50																				
授業の目的・概要	<p>&lt;目的&gt;人間コミュニケーション学科のディプロマポリシーにある「豊かな人間観」と「多様性を尊重する姿勢」を育むため、多角的な視野を培い、異なる背景や視点を尊重できる、多様な自己表現・コミュニケーションを実際の社会場面で実践して、自らの可能性を発掘させることにつなげる。</p> <p>&lt;概要&gt;HC-3 では、実社会で応用できるコミュニケーションを活かしたイベントの企画立案・開催の実践に挑む。コミュニケーションとしてのスポーツを理解するとともに、子どもを対象としたイベント開催を実際に企画立案・準備運営する諸事を通して、実社会の場で通用するコミュニケーションの実践力・応用力を向上させる。</p>																						
授業形式・方法	<table border="0"> <tr> <td><input checked="" type="checkbox"/>対面授業</td> <td><input checked="" type="checkbox"/>講義</td> <td><input checked="" type="checkbox"/>演習</td> <td><input checked="" type="checkbox"/>PBL</td> <td><input type="checkbox"/>反転授業</td> <td><input type="checkbox"/>ディスカッション・デバート</td> </tr> <tr> <td><input type="checkbox"/>遠隔授業(双方向型)</td> <td><input checked="" type="checkbox"/>実習</td> <td><input checked="" type="checkbox"/>実技</td> <td><input checked="" type="checkbox"/>グループワーク</td> <td><input type="checkbox"/>プレゼンテーション</td> <td><input checked="" type="checkbox"/>実習・フィールドワーク</td> </tr> <tr> <td><input type="checkbox"/>遠隔授業(自主学習)</td> <td colspan="5"><input checked="" type="checkbox"/>その他 (イベント開催)</td> </tr> </table>					<input checked="" type="checkbox"/> 対面授業	<input checked="" type="checkbox"/> 講義	<input checked="" type="checkbox"/> 演習	<input checked="" type="checkbox"/> PBL	<input type="checkbox"/> 反転授業	<input type="checkbox"/> ディスカッション・デバート	<input type="checkbox"/> 遠隔授業(双方向型)	<input checked="" type="checkbox"/> 実習	<input checked="" type="checkbox"/> 実技	<input checked="" type="checkbox"/> グループワーク	<input type="checkbox"/> プレゼンテーション	<input checked="" type="checkbox"/> 実習・フィールドワーク	<input type="checkbox"/> 遠隔授業(自主学習)	<input checked="" type="checkbox"/> その他 (イベント開催)				
<input checked="" type="checkbox"/> 対面授業	<input checked="" type="checkbox"/> 講義	<input checked="" type="checkbox"/> 演習	<input checked="" type="checkbox"/> PBL	<input type="checkbox"/> 反転授業	<input type="checkbox"/> ディスカッション・デバート																		
<input type="checkbox"/> 遠隔授業(双方向型)	<input checked="" type="checkbox"/> 実習	<input checked="" type="checkbox"/> 実技	<input checked="" type="checkbox"/> グループワーク	<input type="checkbox"/> プレゼンテーション	<input checked="" type="checkbox"/> 実習・フィールドワーク																		
<input type="checkbox"/> 遠隔授業(自主学習)	<input checked="" type="checkbox"/> その他 (イベント開催)																						
学習上の助言	スポーツイベントの企画立案、運営に参画できるよう、自分から楽しむ心構えを持ちましょう。競技科目ではないので、スポーツ (バドミントン) の得意不得意は関係なく受講できます。																						
教科書	特になし																						
参考書	講義中に適宜紹介する。																						
外部教材	講義中に適宜紹介する。																						
学生が達成すべき行動目標				関連卒業認定・学位授与方針																			
①	スポーツを題材として、イベントの企画・運営に必要な見識を体験できる。			HC(3)、(4)																			
②	イベント参加者とのコミュニケーションを専門的に理解、実践することができる。			HC(1)、(2)、(6)																			
③																							
④																							
⑤																							
⑤																							
授 業 計 画																							
<p>以下の内容について話し合い、スポーツイベント (バドミントンを予定) を開催する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・スポーツイベントの内容を決めて、企画立案を行う。</li> <li>・企画したスポーツイベントを開催するために必要となる準備を行う。</li> <li>・スポーツイベントの周知を行い、開催・運営する。</li> </ul> <p>・子どもを対象として、幼児・児童・生徒の冬季休みにイベント開催を企画立案の予定である。</p>																							
必要時間 (単位: 70 時間): _____																							
学 習 課 題 ・ 学 習 時 間																							
<p>担当教員の指導を受けながら、スポーツイベントを企画立案し、開催に向けた準備を行う。</p>																							
必要時間 (単位: 20 時間): _____																							

【2023 年度/専門科目領域/専門科目群/人間コミュニケーション学科】

総合評価割合 (%)		達成度評価					合計
		試験	レポート	成果発表	ポートフォリオ	その他	
		0	0	0	0	100	100
総合力指標	知識・技術力	0	0	0	0	0	0
	思考・推論・創造する力	0	0	0	0	10	10
	協調性・リーダーシップ	0	0	0	0	20	20
	発表・表現伝達する力	0	0	0	0	0	0
	コミュニケーション力	0	0	0	0	30	30
	取組みの姿勢・意欲	0	0	0	0	30	30
	問題を発見・解決する力	0	0	0	0	10	10
評価のポイント						フィードバックの方法	
評価方法	行動目標	評価の実施方法と注意点					
試験	①						
	②						
	③						
	④						
	⑤						
	⑥						
レポート	①						
	②						
	③						
	④						
	⑤						
	⑥						
成果発表	①						
	②						
	③						
	④						
	⑤						
	⑥						
ポートフォリオ	①						
	②						
	③						
	④						
	⑤						
	⑥						
その他	①	✓	評価項目に従い、イベント開催・運営の前後（全体）を通して、取り組み姿勢やその内容（100%）により評価する。				授業内で解説する。
	②	✓					
	③						
	④						
	⑤						
	⑥						
備 考							
他 担 当 教 員	鈴木 真吾						
教員の実務経験	日本バドミントン協会普及指導部会委員を務め、全国各地でバドミンソンの講習会を開催している。						
実践的授業の内容	バドミンソンの専門家としての経験を活かし、バドミンソンを題材としたスポーツイベントの企画立案、運営方法について教授する。						
そ の 他	<ul style="list-style-type: none"> <li>・最少開講人数は5名、定員は10名程度とする。</li> <li>・大学が公表している感染対策および教員が示す授業方法を遵守すること。問題がある場合には対面授業の参加は認めない。対面授業を行うが今後の新型コロナウイルス感染症の社会情勢によって再度シラバスの変更が行われることもあり得る。</li> <li>・イベントは本学桂川キャンパスの体育館で開催する予定である。その際の移動・交通手段等は受講時に担当教員と相談できる。原則、交通費は学科で負担する。そのため、移動・交通手段を懸念して受講できないと判断しなくて良い。</li> </ul>						